

研究課題名：	腹腔鏡下結腸切除術に体腔内吻合に対する臨床的後方視的検討
研究機関名 所属（診療科等）：	さいたま赤十字病院 外科
研究責任者及び職名：	外科 副部長 岡田 幸士
研究期間：	2019年 8月 19日 ～ 2020年 12月 31日
研究の目的と意義：	<p>腹腔鏡を用いて大腸を切除する手術治療が一般的に行われるようになりましたが、大腸を切除した後に大腸を繋ぐ（吻合）際に体中で吻合する方法と、大腸を体外に引き出して吻合する方法があります。一般的には体外で大腸を切除・吻合を行います。腸が短い場合や腹腔内の癒着が高度の場合には体外で大腸を引き出すのが困難であるため、体内で大腸を切除・吻合（いわゆる完全腹腔鏡下手術）を行うことがあります。当院で行われた大腸の腹腔鏡下手術症例で体内吻合・体外吻合の周術期に関する因子や術後の成績（手術時間・出血量・合併症の発生率など）を比較し、体内吻合の治療成績が体外吻合と遜色ないかどうかを検討します。</p>
研究内容：	<p>2014年9月から2017年5月に当院で行った結腸腹腔鏡手術をおこなった患者様を対象とします。対象患者様が手術をした際の年齢、性別、手術中あるいは手術後の成績（手術時間・出血量・術後合併症の発生率など）を用いて適切な解析手法で比較検討する、いわゆる後ろ向き観察です。</p>
個人情報の取り扱い	<p>研究実施に係る個人情報は院外に持ち出すことなく管理するため、個人を特定できる情報が外部に漏れることはありません。研究結果を学会や論文などに報告する際には、その報告内容に個人情報は一切含みません。一般診療での記録情報を使用させて頂くのみであり、対象の方に費用はかかりません。</p> <p>直接、対面での御同意を頂かず、このお知らせを以て本研究の参加のご理解いただきたいのですが、もし患者様から参加を希望されない場合には速やかに対象から外させていただきます。研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。</p>
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	<p>【研究担当者】</p> <p>所属：さいたま赤十字病院 外科</p> <p>氏名：岡田 幸士</p> <p>住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5</p> <p>電話：048-852-1111 （内線 3325）</p>

